

<記者発表資料>

平成22年12月27日

三六災害50年実行委員会

1. 件 名

**三六災害50年のロゴマークが決定**

～三六災害50年 ロゴマークの公表及び感謝状授与～

2. 概 要

来年は三六災害から50年の節目を迎えます。この災害を風化させず、教訓として継承し、さらに地域とともに水害・土砂災害に備えた地域づくりを目指すため、伊那谷の防災関係機関及び関係自治体等により三六災害50年実行委員会を組織し、積極的な啓発活動を推進しております。

この度、この取組のシンボルとなるロゴマークのデザインが決定しましたので、ロゴマークの公表と作成にあたって協力をいただいた関係者への感謝状授与を、以下の日程等で行いますのでお知らせいたします。

日時：平成23年1月6日（木）14:00～14:30

場所：天竜川上流河川事務所 2階会議室

（駒ヶ根市上穂南7-10）

内容：ロゴマークの公表と作成協力者への感謝状授与（別添次第参照）

3. 資 料

別添資料（三六災害の概要）

4. 解 禁

指定なし

5. 同時配布

このお知らせは、伊那市役所記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブに同時配布しています。

6. 問合せ先

三六災害50年実行委員会 事務局

（国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

副所長 犬飼 一博 TEL:0265-81-6411（代表）

事業対策官 中島 一郎 TEL:0265-81-6417（砂防調査課直通）

別 添

## 次 第

1. 開会
2. 経過説明
3. ロゴマークの公表
  - ・ロゴマークの紹介
4. 感謝状の授与
  - ・三六災害50年実行委員長から協力関係者への感謝状授与
  - ・三六災害50年実行委員長あいさつ
5. 閉会

# 昭和36年6月梅雨前線豪雨災害（通称：三六災害） 概要

別添資料

## 被害の概要

人的被害  
 死者 ……99人  
 行方不明者 ……31人

家屋被害  
 全壊 ……516戸  
 流出 ……380戸  
 浸水戸数…12,452戸

被害額  
 一般被害額 ……152.2億円  
 土木被害額 ……98.7億円



【支川の氾濫】新宮川(駒ヶ根市)



【支川の氾濫】田沢川(高森町)



【本川の氾濫】松尾・下久堅(飯田市)



【本川の氾濫】川路・龍江(飯田市)



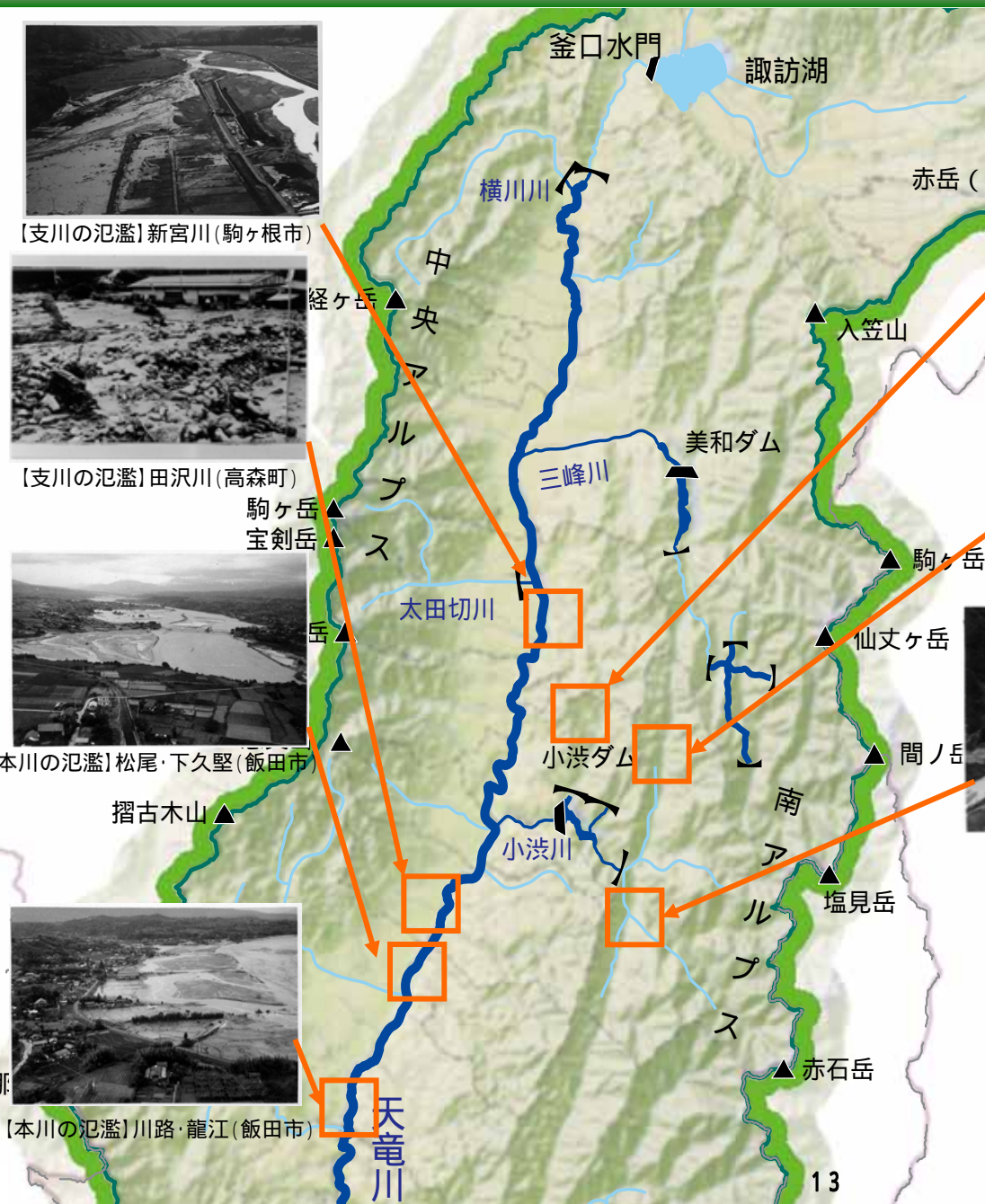
【支川の氾濫】四徳(中川村)



【支川の氾濫】北川(大鹿村)



【土砂崩壊】大西山(大鹿村)



## 三六災害50年事業の目的

伊那谷三六災害から来年6月で50年の節目を迎えます。災害を風化させず、教訓として継承し、さらに地域とともに水害・土砂災害に備えた地域づくりを目指すため、関係機関が情報を共有し、連携して積極的に啓発活動を行うものです。